

水稻栽培支援情報

第4号

令和6年8月1日

作成
JA丹波ささやま

○水稻定点調査結果（7月31日調査）

調査地	移植日	草丈 (cm)	草丈 平年比	茎数 (本/株)	茎数 平年比	出穂期 予測日
後川上	5/3	106.6	108.4%	24.4	105.2%	7/25
般若寺	5/4	110.4	105.7%	22.6	95.4%	7/24
本郷	5/8	94.5	95.2%	18.8	104.2%	7/26
真南条下	5/10	100.9	101.5%	19.8	96.8%	7/26
町之田	5/9	102.0	101.5%	19.2	100.4%	7/25
川原	5/15	104.4	109.0%	27.7	147.0%	7/30
上小野原	5/19	100.3	101.3%	24.8	120.6%	7/31
市内平均	5/10	102.7	103.2%	22.5	109.3%	7/26

1. 気象概要

7月の平均気温は、26.9℃（平年 25.3℃）と引き続き高温で推移しています。積算降水量は 169mm（平年 230mm）と平年より少なく、積算日照時間は 165h（平年 140h）と平年以上の日照量を確保できました。

2. 生育状況

平年以上の気温、日照時間が確保できたことから、草丈は 103cm（平年比 103%）と平年以上の生育、茎数も 22.5 本/株（平年比 109%）と平年より2本程度（平年 20.6 本/株）と多いです。出穂が平年より2日程度早くなっています。

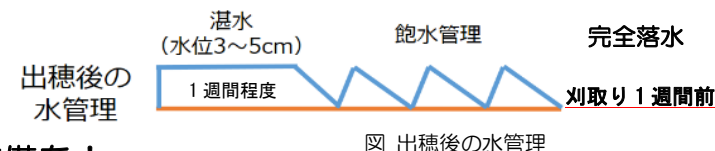
3. 病害虫

目立った発生はありませんでしたが、圃場によってはイネカメムシの発生が散見されました。引き続きカメムシ類の注意が必要です。

○今後の対応について（収穫前の管理）

①早期落水を避け、登熟の向上を！

早期落水すると、白未熟粒の発生や登熟阻害を助長します。圃場条件にもよりますが、下図を参考に、刈取り 7 日前までの完全落水は避けましょう。



②収穫の刈取り準備を！

稔実粒の 85～90%が黄化した時が収穫の目安になります。刈り遅れは胴割れ米の増加や玄米の光沢落ちを助長します。稔実粒が80%黄化した時、8月収穫の場合 2～3日後、9月収穫の場合 3～4日後が収穫適期です。



③斑点カメムシ類対策を万全に！

カメムシの発生が多い圃場が散見されます。圃場の状況を確認し、7/12配信の JA 丹波ささやま LINE 情報を参考に対策をお願いします。

高温が続いています。農作業時は電動ファン付きウェアの着用やこまめな水分補給など、十分な熱中症対策を実施して下さい。

監修：丹波農業改良普及センター

問い合わせ先

JA丹波ささやま営農指導課 079-556-2355

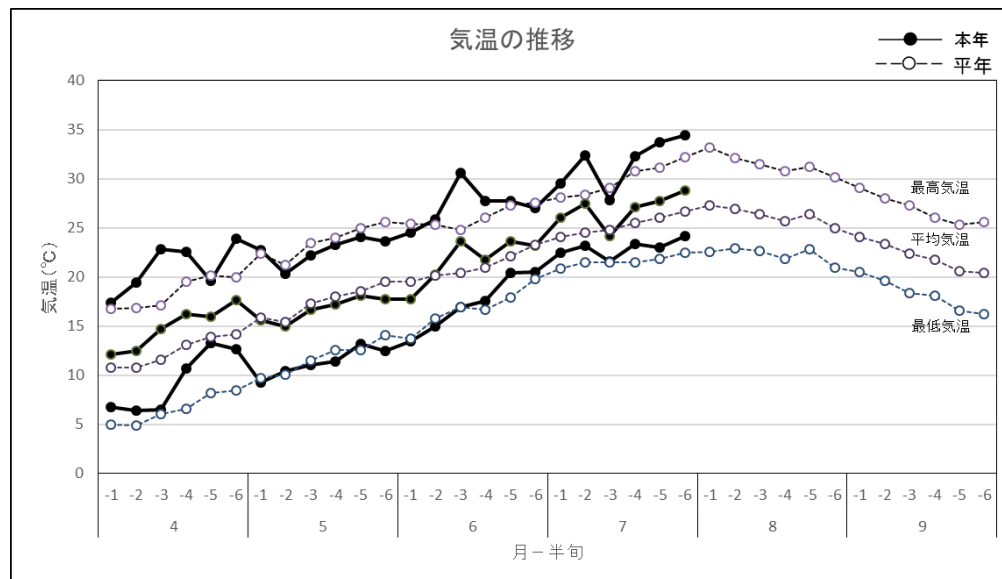


図1 気温の推移（最高・最低・平均気温）

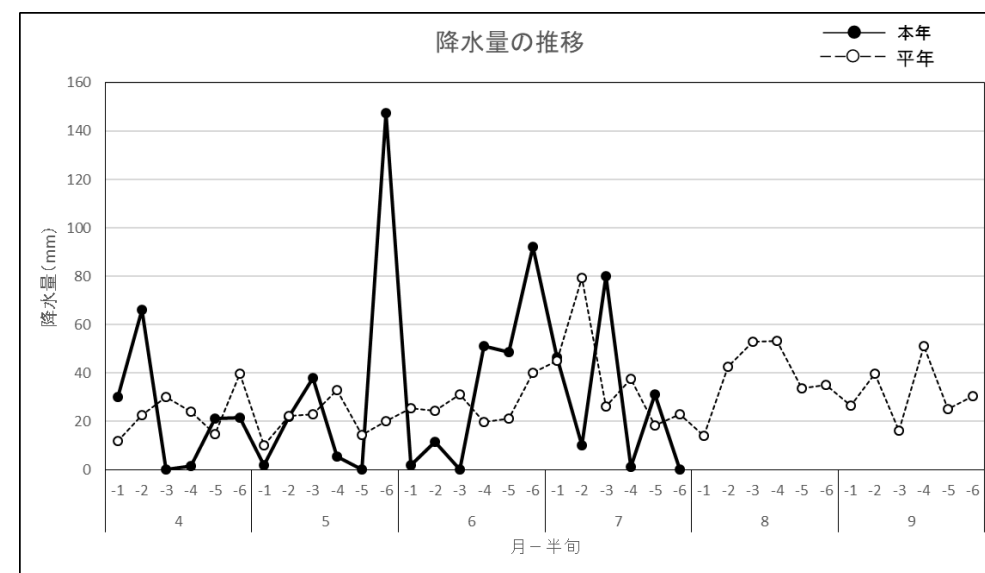


図3 降水量の推移

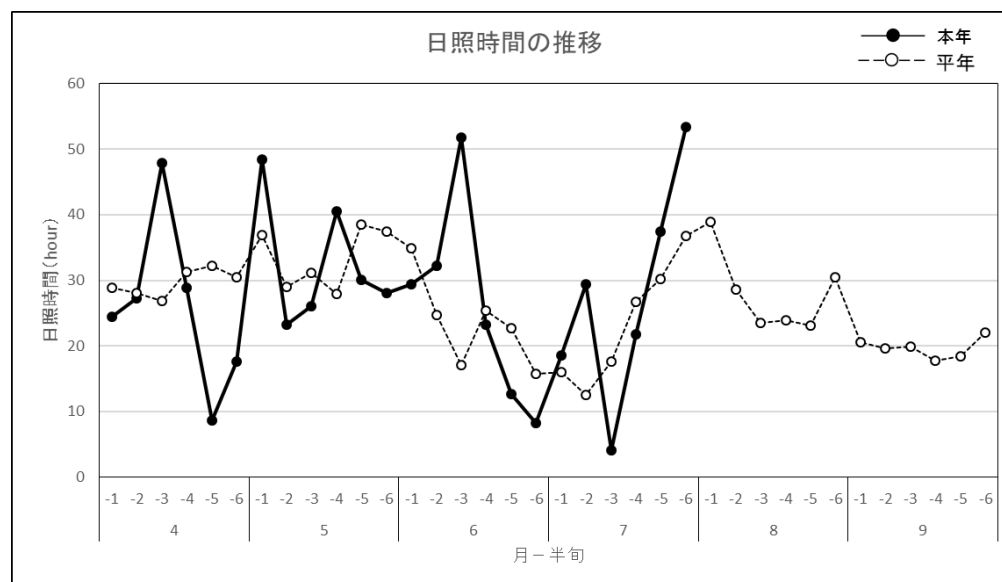


図2 日照時間の推移